

医療セミナー

患者会カフェ

第9回
～「知る」「学ぶ」「集う」～
ちややまち
キヤンサー
フォーラム
2023
～「がん情報」～



MBS × CancerNet Japan

小児がん啓発
レモネード&レモン
無料配布

献血にも
ご協力を

4年ぶりの対面開催! 入場無料

2023年11月11日(土)

11:00~15:30

開催報告書

来場者総数 約400名

【主催】毎日放送/認定NPO法人キヤンサーネットジャパン 【協賛】日本イーライリリー株式会社



4年ぶりの対面開催!

学ぶ

医療セミナー

場所 | ちゃプラスステージ

事前申し込み制

11:00
}
12:30

もっと知りたい
乳がん治療
専門医による解説



講師 千原陽子先生
(市立伊丹病院)



講師 大城智弥先生
(市立岸邊病院)



ゲスト 小川恵理子さん

知る

特別セッション

場所 | ちゃプラスステージ

事前申し込み制

13:30
}
15:00

我が子を看取った緩和ケア医



特別ゲスト 岡本雅子医師



ゲスト 河瀬裕美恵さん

定員になり次第締め切らせていただきます

司会 MBSアナウンサー



上田悦子アナ



野嶋紗子アナ



古川圭子アナ



前田春香アナ

申し込み先

✉ mbscnj@cancernet.jp

※参加に希望のセミナーにお名前・連絡先を必ず書いてください

☎ FAX:06-6886-3387

※FAX受領が印線の方のみお申し込みください
(受付票を添付いたします)

URL <https://ws.formzu.net/fgen/811416596/>



集う

患者会カフェ

場所 | MBSロビー

当日参加OK

11:00
}
15:30

今年は約20の患者会やサポート団体の皆さんに集まっていただき
カフェのようにくつろいで語り合う場を作ります
久しぶりに何気ない会話を楽しみませんか?

協力: 株式会社 日本乳がん協会

颯介と陽音のレモネードスタンド

“小児がん支援”の象徴レモネード 知ることから始めませんか

レモネードとレモン 無料配布!

協力: 大東大阪商業株式会社



©MBS/P3Peace

献血 & 骨髄バンクドナー登録

抗がん剤治療中に欠かせない輸血
骨髄バンクのドナー登録と共にご協力お願いします

がん患者さんの作品とエッセイ

がんと診断された方やご家族、友人が
絵画、写真、絵手紙に込めた思い
ゆっくり見てください



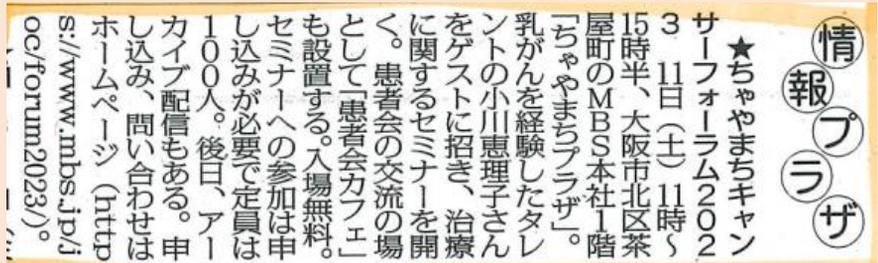
直轄は リリー・オンコロジー・オン・キャンパス

■テレビ

2023/11/3 (金)	情報番組「よんちゃんTV」 関本雅子先生の特集
2023/11/10 (金)	情報番組「よんちゃんTV」 レモネードスタンドについての特集
2023/12/3 (日)	マンスリーレポート https://www.mbs.jp/monthly/

■新聞

2023/11/9 (木) 毎日新聞大阪版朝刊 紙面



2023/12/19 (火) 毎日新聞大阪版朝刊 紙面



■WEB

2022/11/21 (月)	サンスポ https://www.sanspo.com/article/20221121-G2LTXW3H4VITVGHUKYXX6XGBE/
----------------	--

セミナー開始前・休憩時間 配信動画

・ CNJ 団体紹介動画



・ 「患者会カフェ」参加団体の団体紹介 (全18団体)



日本イライリ株式会社

- 米国に本社を置く(株)東映の日本支社 (兵庫県神戸市に拠点)
- 「世界中の人々のより豊かな人生のため、革新的な商品に思いやりを込めて」(OUR PURPOSE (使命)) と、日本の消費者のより豊かな人生のために社会貢献活動を行っています。
- リー・オン・コロー・カンパニーとは、がんと向き合った時の不安、がんと共に生きる決意、そしてがんの経験を乗り越えたご自身の生きざまなど、言葉だけでは伝えきれない思いや体験を写真・絵手紙で表現していただき、多くのひとと分かち合いたいという思いです。日本イライリは、リー・オン・コロー・カンパニーを通じて、がんになって自分らしく生きられる社会を実現する一助となることを目指しています。 <https://www.ori.jp/>



当日、ロビーエリアのミニステージにて各団体代表より約3分間の団体紹介を行いました。（MBS野崎アナと前田アナによるインタビュー形式）

参加団体（順不同）

- NPO法人 難友倶楽部
- NPO法人 関西骨髄バンク推進協会
- NPO法人 京都ワーキング・サバイバー
- プレストケア マイン
- 認定NPO法人 希望の会
- がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ
- 一般社団法人 プレストフォト協会
- 一般社団法人 キャンサーヘアレンツ
- チーム闘病記
- マシュマロ・タッチ
- 碧舌堂
- リレー・フォー・ライフ関西（芦屋）実行委員会
- 大阪QOLの会
- magic ring(マジックリング)
- 公益社団法人 日本オストミー協会 大阪府支部
- 精進難病患者友の会(J-TAG)
- 認定NPO法人 キャンサーネットジャパン(BEC WEST)

特設サイト

ご参加いただいた患者会や支援団体・企業の皆さんの活動をご紹介いたしました

日本イーライリリー株式会社 *Lilly*

- ✓ 米国に本社を置く製薬会社の日本支社（兵庫県神戸市に拠点）
- ✓ 「世界中の人々のより豊かな人生のため、革新的医薬品に思いやりを込めて」をOUR PURPOSE（使命）とし、日本の患者さんのより豊かな人生のためにたゆまぬ努力を続けています。
- ✓ リリー・オンコロジー・オン・キャンパスとは、がんと告知された時の不安、がんと共に生きる決意、そしてがんの経験を通して変化した自身の生き方など、言葉だけでは伝えきれない思いを絵画・写真・絵手紙で表現していただき、多くの方々と分かち合っていたく「場」です。日本イーライリリーは、リリー・オンコロジー・オン・キャンパスを通じて、がんになっても自分らしく生きられる社会を実現する一助となることを目指しています。 <https://www.locj.jp/>






日本イーライリリー株式会社
団体のサイトはこちら 

がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ

神戸薬科大学 地域連携サテライトセンター

がん哲学外来って？

がんと告知されてから、あなたが考える「悩み・不安・思い・願望」などを聞いて「解消できる道」と一緒に探し「医療の隙間」を埋める活動です。



神戸薬科大学 地域連携サテライトセンター（JR住吉駅徒歩5分）

奇数月に、開催中です。次回は、1月27日（土）です。こちらのサイトに案内があります。どなたでも参加できます！





順天堂大学 名誉教授
がん哲学外来市民学会 代表
植野 興夫 先生

がん哲学学校 in 神戸 メディカル・カフェ
団体のサイトはこちら 

参加団体よりいただいたご意見

協力：オンコロ（飲料水の提供）

- 対面だからこそ感じられる「同じ時間を同じ場所で過ごす」ことから生まれるつながりの力。今このときを一緒に過ごして、感じられることが、どれだけ大きなことなのか、あらためて感じた一日となりました。一団体だけではなかなか実現できない想いを形としてつくっていただきましたこと深く感謝申し上げます。ブースに立ち寄ってくださった方からも「やっぱり、対面はいいですね」「実際に会ってお話することで大きな力をいただきました」といったお声もいただきました。
- 患者カフェは残念ながら場所が奥まっけて入りづらいレイアウトでほとんど当会含め奥の方まで来られる方がおられませんでした…柵を取り払ってもっと真ん中にスペースもらえたらいいなと思いました。
- 「イベントにふらっと立ち寄ってみたところ、これまで知らなかった患者会情報も知ることができて、選択肢が広がった」という流れになることが理想ですが、今回はその展開がみられなかったように感じます。（会場の各コーナーの配置・動線）
- 4年ぶりのリアル開催で、私たちもたくさんの患者さんと触れ合えて、とてもうれしかったです。ブースには60名を超えるがん患者さんにお越しいただきました。
- やはり現地開催はいいなと感慨に耽っております。久しぶりの方、初めましての方、それぞれにお互いの活動を知ることができました。



開催プログラム（医療セミナー）

学が 11:00～12:30 **もっと知りたい乳がん治療** チャプラスデー | 事前申し込み制

✳ わたしの乳がん体験記

ゲスト 小川恵理子さん（タレント・ラジオパーソナリティー）

1989年2月19日、福井県鯖江市生まれ。大学に遊みながら芸能活動を始める。これまでに「おはよう朝日です」「森田正幸 神も甘いも」などに出演。昨年末、婦人科系のがん検診を受けた際に右乳房にがんが見つかる。今年（2023年）7月26日に右乳房全摘出及び再建手術の手術を受けた。転移も認められず、がんの性質も化学療法が不要と診断され、8月15日のラジオ大阪「hanashikaの特集」より仕事復帰した。

✳ 乳がん治療で気になるポイント徹底解説

講師 大城智弥 先生（市立同徳病院 乳腺外科主任医師）

大阪府出身。2006年鳥取大学医学部卒業。市立同徳病院（現：市立総合医療センター）で初期研修中に乳腺外科の診療に魅力を感じ、乳腺外科医を目指すことに。市立同徳病院で外科後期研修を終了、大阪大学大学院乳癌内分科で博士課程を終了。2016年から市立同徳病院乳腺外科で診療を行っている。2022年4月より乳腺外科主任部長、乳がん高度診療・治療センター長、がんセンター長として、日々患者さんに向き合っている。

✳ 薬物治療の最新トピックス

講師 千原陽子 先生（市立伊丹病院 乳腺外科主任部長）

山形県出身。2004年山形大学医学部卒業。虎の門病院で研修中、女性外科医として患者さんの役に立ちたいと専攻乳腺外科医を目指す。がん研有明病院乳腺センターを経て、大阪大学大学院乳癌内分科で博士課程を終了。2019年から市立伊丹病院に赴任し、2022年からは乳腺外科主任部長として、患者さんにご家族に寄り添う診療を行っている。

司会 古川圭子アナウンサー

大阪府豊中市出身。JALグランドスタッフ、花博コンパニオン等を経て1993年NHK入社。現在、ラジオ「ヤマヒロのひかいちラジオ」「ありがとう武村淳です」など担当。がんの父の奮闘を自宅まで取材。寛がんの術後5年になる母の介護を続けている経験を伝える講演なども行っている。

2024年1月24日現在
動画再生数 10,516回



MBS古川圭子アナによる進行のもと、まずは、「わたしの乳がん体験記」と題してゲストの小川恵理子さんよりお話しいただきました。「笑うことはメンタルを明るくしてくれる」「ネガティブな情報を得ないため乳がんに関する情報をネットで見ないようにした」など、自身のご経験や術後20日余りで仕事に復帰されたエピソードもお話しいただきました。

次に「乳がん治療で気になるポイント徹底解説」について、大城智弥先生にご講演いただきました。乳がん治療の「きほんのき」として治療は手術、放射線療法、薬物療法を組み合わせる事が大事であること。また、「乳がんをよく知る（ステージ・サブタイプ分類）」「自分の乳がんにあった治療方法を検討すること」が治療で最も大切なポイントだと話されました。更にサブタイプにより周術期に使う薬が違うことや、センチネルリンパ節生検では、いくつかの条件はあるが、転移が2個までなら腋窩リンパ節郭清を省略しても問題ないとの複数の比較試験による結果が出たことについても教えていただきました。

最後に「薬物療法の最新トピックス」について千原陽子先生よりご講演いただきました。まず、薬物療法の周術期においては、全身のどこかに隠れている小さな転移を根絶し、転移再発においては、遠隔転移の進行を抑え生活の質を維持しがんとの共存を目指すことを目的とする、とお話しされました。また、再発リスクに応じた更なる個別化治療の一例として、サブタイプが「ホルモン陽性/HER2陰性」では分子標的薬のアベマシクリブ、経口抗がん剤のTS-1が、再発高リスク乳がんの術後薬物療法へ適応拡大となったこと、また転移再発乳がんの薬物治療で「HER2低発現」のカテゴリーが生まれ、治療の選択肢が増える可能性があることなど、とても有益な情報をいただきました。

2024年1月24日現在
動画再生数 3,163回

知る 13:30~15:00 **特別セッション** チャプラスステージ | 事前申し込み制

✳ 我が子を看取った緩和ケア医

【ゲスト】 関本雅子 医師（かえでホームケアクリニック理事長）

1974年神戸大学医学部卒業後、約20年間麻酔科医として手術麻酔とペインクリニックに従事。中学時代から通っていた教会の牧師、麻酔科の上司、父、それぞれのがん死の経験からホスピス医を目指し、1994年神戸市の六甲病院に緩和ケア病棟を立ち上げた。7年間の病棟でのホスピスケアの後、2001年に在宅緩和ケアを主とするクリニックを開院。現在までに4,000人強のがん患者さんに寄り添うことができた。クリニックの院長就任直後、長男が膵がんⅣ期と診断され、2022年4月に永眠。娘が、発病後2年半を懸命にかつ存分に生き抜いてくれたことが家族の大きな救いになっている。カンサーフォーラムでは、在宅緩和ケアの現状、長男も含めて、がん患者さんの生きざまについてお話しさせていただきます。

✳ Q&Aセッション 在宅療養についてお答えします

【ゲスト】 河淵裕美恵 さん

看護士の母の影響を受け、看護士になり約27年。「在宅看護は私の天職」と思う。12歳の時、健康を取り柄の父が突然のがん宣告。約1年の入院生活を強いられ、「病気でも安心して家で過ごせたら」と親しい思いをした事が在宅看護士への第一歩。総合病院で臨床経験を積み、訪問看護ステーションで約19年間勤務。2020年、関本クリニック（現：かえでホームケアクリニック）に転職。在宅医療に日々、励んでいる。

【MC】 上田悦子 アナウンサー

大阪府東大阪市出身。2000年入社。『よんちゃんTV』『ザ・リーダー』『星雲アルバム』ラジオ『こんちわコンちゃんお癒ですょ!』等を担当。家族ががんに罹病した経験から、JOCの活動開始当初より、数々のセミナー進行をつとめ、知識を深めている。



MBS上田アナによる進行のもと、特別ゲストの関本雅子先生より「緩和ケア医が語る家族の看取り～人生会議の勧め～」をテーマにお話しいただきました。

まずは、がんの療養やホスピス病棟についてなど、緩和ケアの現状について教えていただきました。近代ホスピスの母と呼ばれている、シシリー・ソンドース先生の教え「私たちはあなたが平安のうち死ぬことができるだけでなく、最後まで生きられるようにできるだけのことをさせていただきます」を紹介し、「最後まで生きられることがとても大事で緩和ケアの真髄ではないか」と話されました。

また、死に至る3つのパターン（がん患者、心疾患、老衰）をグラフで示され、「がん患者は、トイレに行けるかどうかを基準に、急激な変化がある。」とし、「がん患者さんは亡くなる直前までトイレに行ける方も多い。痛みと辛さをコントロールできていれば、自身で動ける間はおうちで過ごされるとよいのでは」と話されました。その他、人生会議を始めるタイミング、人生最終段階におけるケアのモットーは「最善の状況を期待しつつ最悪に備える」なのだが、息子の剛氏から「自分が患者になってみて、最悪の話など聞きたくない。やっぱり日々希望を持って楽しいことを考えていないとやってられない」というお話があったことなど教えて下さいました。

次に、剛氏の闘病と生きざまや経過、著書についてお話しいただきました。亡くなる20日前の手術のこと、手術によって意識が回復し宝物のような時間が過ごせたことなどを、緩和ケア医としてだけでなく、ご家族としての視点でお話下さいました。最後に、剛氏が生き方の参考にしたという言葉いくつかご紹介いただき、剛氏の思い、看取った後の思いなどお話しいただき「Every day is a gift（1日1日が素晴らしいプレゼント）」という言葉で講演を終えられました。

特別講演のあとは、関本雅子先生と、かえでホームケアクリニック看護師 河淵裕美恵さんも加わり、会場からのご質問に答えるQ&Aセッションが行われ、いただいたご質問ひとつひとつ丁寧にお答えいただきました。

がん患者さんの作品とエッセイ リリース・オンコロジー・オン・キャンバス



小児がん啓発 レモネード&レモン無料配布 颯介と陽音のレモネードスタンド

協力：大果大阪青果株式会社（レモンの提供）



献血&骨髄バンクドナー登録



献血 36名
骨髄ドナー登録 9名

アンケート結果 (回答数 71名)

もっと知りたい乳がん治療

① 大変満足	39.5%
② 満足	26.8%
③ どちらとも言えない	2.8%
④ 不満	0.0%
⑤ 参加していない	18.3%
無回答	12.7%

我が子を看取った緩和ケア医

① 大変満足	54.9%
② 満足	7.0%
③ どちらとも言えない	0.0%
④ 不満	0.0%
⑤ 参加していない	19.7%
無回答	18.4%

あなたの立場は？(複数回答可)

① 患者(治療中)	35.2%
② 患者(経過観察中)	30.0%
③ 患者の家族	15.5%
④ 患者の友人	8.5%
⑤ 医療関係者(医師)	1.4%
(看護師)	9.9%
(薬剤師)	2.8%
(その他)	5.6%
⑥ 介護士	4.2%
⑦ ヘルスケア関連	4.2%
⑧ その他	11.3%
無回答	1.4%

今回のイベントに満足されましたか？

① 大変満足	60.6%
② 満足	35.2%
③ どちらとも言えない	2.8%
④ 不満	0.0%
無回答	1.4%

来年もフォーラムの開催を希望しますか？

① 強く希望する	47.9%
② 希望する	39.4%
③ どちらとも言えない	11.3%
④ 希望しない	0.0%
無回答	1.4%

過去のフォーラムに参加されたことがありますか？(複数回答可)

① 2021年(オンライン)に参加	8.5%
② 2022年(オンライン)に参加	11.3%
③ 2020年以前に参加	23.9%
④ 参加したことない	66.2%
無回答	1.4%



ちややまちキャンサーフォーラムへのご感想・ご意見

- 最新の情報を教えて下さりありがとうございました。ネットの情報は信じられないので、こういうフォーラムは貴重です。本当にありがとうございました。MBSさんありがとう。
- あっという間に時間が過ぎとても充実したセミナーでした。私も1日1日を毎日大切に生きていこうと思います。ありがとうございました。
- 見やすく、聞きやすくとても参考になりました。ありがとうございました。
- これまでは患者さんへのセミナーでしたが、患者家族を対象のセミナーもしてほしいです。
- 2014年11月10日に六甲病院で剛先生に母をみとって頂きました。今、自分がステージⅤのがん患者となり、今回のセミナーはとても良かったです。
- 関本先生のお話しで緩和ケアについて学ぶことが多かったです。ケアマネをしていた10年前は在宅での緩和医もそれほどおらず、在宅で看取りを行うのは、難しい点が多かったように思います。(訪問医が対応できず結局入院となる等)自身もがんになり、最後の場所選びで在宅もありだと思いました。
- 本日はフォーラムの開催ありがとうございました。手作りのパットをいただいて感激です。心があたたくなり頑張れそうです。
- とても心にひびく講演でした。これからもこのようなフォーラムが続くことを期待しています。
- 大変貴重なお話しをありがとうございました。希望を頂けました。これからもこの活動を続けて下さい！
- このようなイベントまたやって下さい。友達が乳がんステージ4、余命宣告されて半年後亡くなりました。
- 知識のバージョンアップが出来、母の緩和ケアについて悩んでいる時に有意義な時間でした。明るい光が見えてきました。
- セミナーに参加して学びや気づきをたくさん得ることができました。Life is a gift. 自分自身、家族、仕事で接する保護者の方にもお伝えしていければと思いました。ありがとうございました。
- 久しぶりのちややまちキャンサーフォーラムに来ると、乳がんの分類、薬の数、などなど変わっていて驚いたが、そういう恩恵を受けられない時もある。やはり「癌」は無常な最後になる人もいることを改めて思った。関本先生は話の仕方、口跡の明確さもあり、とても聞きやすく伺って良かったと思った。ロビーではコロナ禍前にお世話になった患者会の人にも会えてうれしかった。関本先生の質問に対するお答えがとても優しかった。きびしい体験からでしょうか、でも信頼できる先生なんだろうと思った。
- 乳がんの最新治療がよく分かりました。千原先生・大城先生が「自分らしく」生きることの大切さをおっしゃってくださったことが力になります。2019のフォーラムで関本剛先生の講演に参加していました。亡くなられたことは残念ですが生き方の方向性を示されて、生きられたことに敬意を表します。

ちややまちキャンサーフォーラムへのご感想・ご意見

- ・ 関本先生のお話を聞けて在宅看護にも更に興味が湧きました。
- ・ 患者会のスペースが独立して休憩スペースもありよかった。関本剛先生のごことはTVでみたりしてどうされているのかと思っているところに亡くなられたと聞き、今回お話を聞き、ご本人、まわりの方の生きられた事を知りました。生前のご本人のあいさつは、私も自分であいさつをしたいと思います。すばらしいVTRでした。関本先生の緩和ケアの実際の話、とても参考になりました。
- ・ 私の主治医はネット情報はみるな、私の話だけきいていけばいいという方で、指示とおりにしていただきましたので今日のお話をきかせていただいて自分の受けている治療について確認できたのが安心の材料となりました。乳がん学会の出している冊子は2019年、2023年版と買っていますが、読みとくのはむずかしいところがあります。告知を受けたときのショックは一生消えないし、今でもフラッシュバックしてつらい日もあります。今日のお話中も何度もつらくて泣きそうになりましたがお話きけてよかったですと思います。ありがとうございました。
- ・ もっと時間があればよかったです。ですが、体験者の方、先生(現場)のお話を聞いて、不安が多かった私にとってとても心強く思えました。ありがとうございました。
- ・ 小川さんのお話とても楽しくかつたいへん為になりました。こういう本があれば欲しいです。小川さんステキです。
- ・ 乳がん1年目で、今までいろいろなイベントに参加してきましたが、今回参加できてとてもよかったです。(東京で手術・治療、今年関西へ引っ越し)小川さんのお話は、とても明るく楽しく前向きになれるとても為になる体験談でした。さすがアナウンサーさんです。大城先生は、大きくはっきり聞きとれる声で、内容も初心者でもとてもわかりやすい話し方で、今まで数多く参加したセミナーの中でも一番わかりやすくよかったです。千原先生のお話は薬物のことなので、少しむずかしいところはあったものの最新の治療を知る良い機会になってとてもよかったです。
- ・ 不安になるのは自分が弱いからではないという言葉に泣きそうになりました。ありがとうございました。(見た目の変化がないだけにしんどさの理解がなくて)
- ・ 新しい適正な情報を知ることができる場をありがとうございます。医療の進歩そして関係のみなさんのとりくみに頭が下がります。次回以降も楽しみにしています。(次回はボランティア参加したい！)
- ・ 大城先生の最新の知識(特に再発リスク評価)がとても勉強になった。定期的に知識のブラッシュアップが必要だと感じました。ありがとうございました。
- ・ 毎年参加させていただくたびに治療の情報が更新されていきます。今回の基本のき、とてもわかり易かったです。学会とかも参加しますが、市民参画を目指すうえでも、このような取り組みは重要だと思います。長く続けていただけるよう願います。